

令和4年度 普及活動成果集

「多様な人材が躍動する
魅力ある都市近郊農業を目指して！」



就農基礎講座



経営意向調査



ドローン実演会



いちご栽培指導



カキせん定指導



子実トウモロコシ生育調査

福岡県福岡普及指導センター

令和5年3月

はじめに

福岡・筑紫・糸島地域の農業者の皆さま、並びに関係機関におかれましては、平素より福岡普及指導センターの活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、国は5年おきに「農林業センサス」という統計調査を行っておりますが、その中に「基幹的農業従事者」という数値があります。

「基幹的農業従事者」とは、「ふだん仕事として主に自営農業に従事している者」を指し、私たち普及事業に携わる職員にとって、一番接点の多い農業者の方々です。

しかし、「基幹的農業従事者」の人数や年齢構成を遡って見ると、人数は大幅に減少し、かつ高齢化が進んでおり、農業生産の縮小のみならず、農道や用排水路管理など生産に直接結びつかない農村環境の維持活動への影響が懸念されます。

地域の農業・農村を維持していくために、これらの活動を担う担い手の確保が益々重要となっています。

このため、福岡普及指導センターでは、管内の農業者の経営発展、野菜・果樹・花き産地の維持拡大とともに、これからの農業・農村を担う新規就農者の育成に取り組んでおり、これらの活動内容を本成果集に取りまとめましたので、ご一読いただければ幸いです。

今後とも、管内の農業・農村の発展に向け、私ども福岡普及指導センター職員一丸となって取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

令和5年3月

福岡農林事務所福岡普及指導センター長 釜瀬 健一

目次

1 普及活動の成果

ページ

- 【1】 筑紫地区の集落営農組織の経営力強化とアスパラガスの振興 1
- 【2】 次世代を担う新規就農者の確保と経営安定 3
- 【3】 スマート農業技術の推進による水田農業の強化 4
- 【4】 福岡管内イチゴ産地の活性化 5
- 【5】 若手育成による糸島花き産地の活性化 6
- 【6】 ブランドかんきつの生産拡大および若手農家への重点指導による産地強化 7
- 【7】 酪農経営体の維持確保 8
- 【8】 肉用牛（黒毛和種）の生産振興 9

2 トピックス

- 【1】 未来を切り開こう！JA 糸島青年部有志が農業経営計画策定に挑戦 10
- 【2】 「(農) 西小田」が麦づくりで表彰
- 【3】 ブロッコリー肥料コスト低減技術の実証 11
- 【4】 夏の花「クルクマ」の出荷額が初の1億円突破！
- 【5】 福岡県農林水産賞（優秀賞）を受賞 12
- 【6】 JA 糸島が無料職業紹介所を開設
- 【7】 令和4年度福岡県花き品評会産物の部 県知事賞を受賞（ガーベラ） 13
- 【8】 糸島市で子実用とうもろこしの作付を開始
- 【9】 令和4年度福岡県花き品評会産物の部 県知事賞を受賞（ストック） 14
- 【10】 全国和牛能力共進会 第8区で優等賞を受賞
- 【11】 高病原性鳥インフルエンザ、連続発生！ 15

3 各種表彰の紹介

. 17

4 資料一覧

- ・ 令和4年の気象概況 19
- ・ 令和4年度の主な展示ほの概要 21
- ・ 現地活動情報一覧 23
- ・ 普及指導センターの活動体制 24

1 普及活動の成果

【1】筑紫地区の集落営農組織の経営力強化とアスパラガスの振興

～ 組織の経営改善とアスパラガスの生産拡大 ～

要約

土地利用型農業が主である筑紫地区では、重要な担い手である機械利用組合や法人組織の育成や経営力強化が重要なことから、関係機関により構成される担い手支援班を設置し、組織の課題把握や課題改善計画の策定支援を行いました。

この結果、地区の7組織が課題改善計画を策定し、6組織が目標を達成しました。

また、筑紫地区の重点園芸品目であるアスパラガスの振興を図るため、新規作付けの推進や既存生産者に対する個別巡回、個別カルテに基づく指導を行ったところ、新たに3名が作付けを開始するなど生産が拡大しました。

対象概況

JA 筑紫機械利用組合・農事組合法人連絡協議会

7組織（農事組合法人：4組織、機械利用組合：3組織）

JA 筑紫アスパラガス部会 15名（2.1ha）

活動内容

1 支援体制の整備

- ・筑紫地区農業振興協議会担い手支援班会議 4回

2 集落営農法人等の経営力強化

- ・法人化検討会（山家地区） 2回
- ・課題改善計画策定支援 2回
- ・重点指導法人の個別面談 3回
- ・重点指導法人の米麦大豆の栽培技術指導 18回
- ・重点指導法人の園芸品目の栽培技術指導 27回
- ・その他法人・組織の米麦大豆の栽培技術指導及び個別面談 5回
- ・研修会 1回

3 アスパラガスの振興

- ・園芸振興班会議（空きハウス情報の共有等） 1回
- ・アスパラガス新規説明会（個別推進等） 1回
- ・アスパラガス講習会・現地巡回 7回
- ・個別カルテ作成 15戸
- ・展示ほ設置（かん水管理・肥培管理） 2箇所

成果

1 支援体制の整備

- ・筑紫野市、那珂川市、JA、普及センター等で構成する筑紫地区農業振興協議会担い手支援班を設置

2 集落営農法人等の経営力強化

- ・法人設立数 4法人 (R1) → 5法人 (R4)
(令和4年5月に山家の里株式会社設立)
- ・課題改善計画策定組織及び法人数 0法人等 (R1) → 7法人等 (R4)
- ・課題改善計画達成組織及び法人数 0法人等 (R1) → 6法人等 (R4)

3 アスパラガスの振興

- ・アスパラガス栽培面積 2.1ha (R1) → 2.5ha (R4)
- ・アスパラガス新規生産者数 0名 (R1) → 3名 (R4)



集落営農法人化検討会



重点指導法人の個別面談



重点指導法人の栽培技術指導(乾田直播)

アスパラを作ろう!!

筑紫地区農業振興協議会では、毎年度のアスパラガスを推進しています。あなたも取り組んでみませんか？

栽培・経営の特徴

1. JA組合があり、販売先が確保されている！
2. 組合の指導があるため、調製はJAにおまかせ！
3. 経費がかからない！
4. 一度定着すると10年以上収穫できる！
5. 軽作業なので、女性や高齢の方でも取り組めます！
6. 市場価格の変動が少なく、安定した経営ができます！

収益性 ※20aあたりの所得は約220万円

	1年目	3年目	5年目
収穫	0	2,500kg / 10a	3,000kg / 10a
経営面積	20a	20a	20a
種付け(万円)	0	570	684
経費(万円)	253	494	461
所得(万円)	253	146	223

必要な機材等

ハイハウス(2重カーテン必須)、かん水施設、トラクター(1年目のみ使用)、管理機、動力噴霧機、支柱、フラワーネットなど

アスパラガスの作付推進資料

今後の取組み

- ・担い手支援班による集落営農組織・法人の経営力強化の支援を継続します。
- ・アスパラガスの生産振興に努め、生産者及び部会の経営力強化を図ります。園芸振興班で取りまとめた空きハウス情報は、今後も逐次更新を図ると共に新規生産者の確保に向けて活用します。

【2】次世代を担う新規就農者の確保と経営安定

～ 認定新規就農者等の育成と経営安定支援 ～

要約

高齢化等により管内の農業者が減少する中、新規就農者など将来の農業の担い手を育成・確保することは重要な課題となっています。

このため、管内の市役所やJAと連携し、就農相談者への対応や就農前研修の実施、さらには、就農後の個別指導等を通じ新規就農者の経営安定に取り組んできました。

その結果、青年等就農計画策定数が増加するなど、新規就農者の確保につながりました。

対象概況

1 新規就農者の確保

- ・就農相談者 52人 (R3)
- ・JA 研修施設研修生 3人 (R3)

2 新規就農者の経営安定支援

- ・新規就農者 109名 (R1～R3)
- ・うち農業次世代人材投資資金受給件数 20件 (R1～R3)

活動内容

1 新規就農者の確保 (R4)

- ・就農相談 63件
- ・新規就農支援担当者会議 8回
- ・JA 研修施設研修生個別指導 6回

2 新規就農者の経営安定支援 (R4)

- ・ふくおか就農基礎講座 8回
- ・個別巡回指導等 延べ100回
- ・SNS を活用した情報発信 15回



ふくおか就農基礎講座（機械研修）の様子

成果

1 新規就農者の確保 (R2～R4累計)

- ・青年等就農計画策定数 8件 (R1) → 33件 (R4)
- ・JA 研修施設の研修生数 3人 (R1) → 11人 (R4)

2 新規就農者の経営安定支援 (R4)

- ・青年等就農計画の目標達成の事例
 - 所得目標達成 5件
 - 売上目標達成事例 目標940万円達成
 - 新品目導入事例 水稻後の農地借用し ブロッコリー、生姜 2ha 作付
 - 面積拡大達成事例 目標 44a → 実績240a

今後の取組み

- ・生産資材費等が高騰する中、農地等を持たない農外からの就農希望者は、農業に参入することが困難になってきているため、関係機関とともに対応を検討していきます。

【3】スマート農業技術の推進による 水田農業の強化

～ 導入に向けた活動を支援 ～

要約

水田農業の担い手が減少する中で、規模拡大や水田作業の省力化を図るためには、スマート農業技術の活用が重要です。

このため、大規模に水田農業を展開する経営体を対象に、スマート農業技術に関する研修会の開催や実証ほの設置を検討しました。

その結果、スマート農業技術に対する理解が深まり、スマート農業機械の導入が進みました。

対象概況

15ha 以上の大規模経営体
37 経営体
JA 糸島スマート農業研究会
6名

活動内容

- 1 スマート農業技術研修会開催
 - ・ドローン防除実演会 2回
 - ・スマート農業技術研修会 1回
- 2 糸島スマート農業研究会活動支援
 - ・スマート農業技術研修会 1回
- 3 スマート農機実証ほの設置
 - ・実証ほ設置に係る会議 3回



ドローン防除実演会の様子

成果

1 スマート農業機械導入経営体数が増加

- ・令和3年度からの取組みにより、スマート農業技術の導入効果が明らかになり、理解が深まったことで、スマート農業機械の導入経営体数が増加しました。
- ・8戸（R2）→22戸（R4）

導入されたスマート農業機械

直進アシストトラクタ	2台
自動運転トラクタ	3台
収量コンバイン	5台
直進アシスト田植機	6台
自動運転田植機	1台
後付自動操舵	2台
ドローン	13台
合計	32台

今後の取組み

- ・水田農業の規模拡大や省力化につながる様々なスマート農業技術について、導入の判断となる情報の収集や提供を進めていきます。

【4】福岡管内イチゴ産地の活性化

～ 単収向上と担い手育成に向けた支援を実施 ～

要約

管内イチゴの生産を維持し、産地の活性化に結び付けていくためには、単収の向上や産地の将来を担う若い農業者の育成が重要です。

このため、管内イチゴの平均単収（4.2t/10a）を上回ることを目標に掲げ、生産組織の青年部や新規就農者を対象に、栽培講習会や現地巡回等に力を入れました。

その結果、平均単収を上回る農業者が増加するとともに、経営改善や新しい技術の習得に積極的な若い農業者の育成につながりました。

対象概況

JA 福岡市いちご部会	28戸
うち青年部員	19戸
JA 糸島いちご部会	100戸
うち青年部員	27戸
JA 福岡市東部いちご部会	21戸
新規就農5年目未満の生産者	14戸

活動内容

1 単収の向上	
・技術検討会	4回
・栽培講習会	7回
・技術展示ほ設置	2箇所
2 青年部の栽培技術向上と経営改善	
・現地検討会・講習会	4回
・スマート農業勉強会	2回
・経営コンサル	2戸
3 新規就農者の技術向上	
・個別面談	14戸
・イチゴ基礎講座	2回
・時期別作業評価	2回

成果

- 1 単収の向上**
 - ・4.2t/10a 以上の農家率
39% (R1) → 57% (R4)
- 2 青年部の栽培技術向上と経営改善**
 - ・経営改善目標達成者
0名 (R1) → 24名 (R4)
 - ・環境測定機器の導入が広がり、測定データをもとにハウス内環境の最適化を検討する研究会が立ち上がりました。



ハウス内環境測定の様子

- 3 新規就農者の技術向上**
 - ・4.2t/10a 以上の新規就農者
3名 (R1) → 7名 (R4)

今後の取組み

- ・現地巡回支援を中心とした栽培指導を引き続き行うとともに、環境測定機器のデータ分析を基にハウス内環境の最適化を図り、技術の高位平準化を目指します。

【5】若手育成による糸島花き産地の活性化

～ 糸島の若手生産者の経営改善を支援 ～

要約

生産者の高齢化が進む糸島花き産地を維持・発展させていくためには、しっかりとした経営を営む若手生産者の育成が重要です。

このため、若手生産者の中から重点支援対象者を選定し、個別目標の策定や、目標達成に向けた取組みの支援を行いました。

この結果、販売金額目標を大幅に上回るなど個別目標の達成を通じ、若手生産者の育成につながりました。

対象概況

JA 糸島花き部会	124名
うち若手生産者（45歳未満）	24名
うち重点支援対象者	9名
（クルクマ6名、キク3名）	

活動内容

1 若手生産者等の経営改善

（1）クルクマ

・経営目標設定支援	1回
・巡回指導	6回
・実績検討	1回

（2）キク

・経営意向調査	2回
・目標設定支援	1回
・巡回指導	4回



経営意向調査の様子

成果

1 若手生産者等の経営改善

（1）クルクマ

- ・販売目標を達成した重点支援対象者

0名（R3）→2名（R4）

〔 目標達成131%：1名
目標達成153%：1名 〕

（2）キク

- ・周年栽培に向けた投資を円滑に進める目標（農業経営改善計画認定）を達成した重点支援対象者

0名（R3）→1名（R4）

今後の取組み

- ・重点支援対象者9名のうち、3名が自ら設定した目標を達成することができたので、残りの重点支援対象者に対し、経営改善のための課題の把握、目標設定および目標達成を支援していきます。

【6】ブランドかんきつの生産拡大および若手農家への重点指導による産地強化

～ 糸島地区のかんきつ産地の維持・発展に向けて ～

要約

糸島地区のかんきつ産地は、高品質な果実生産により有利販売を行っていますが、農家数・面積とも減少傾向にあります。

このため、産地の将来を担う若手農家を対象に、経営や生産技術に関する重点指導を行うとともに、優良品種への改植を推進しました。

この結果、自らの経営計画を策定し、省力樹形などの新しい技術を導入した若手農家が育成されるとともに、改植により優良品種の面積が増加しました。

対象概況

JA糸島柑橘部会	86名、57.2ha
若手グループ	14名、17.1ha

活動内容

1 優良品種への改植促進

・改植促進のための個別指導	5名
・ブランド化推進検討会	1回
・園地流動化検討会	2回
・園地意向アンケート	1回

2 若手グループの育成

・経営勉強会	1回
・農業DX推進検討会 (スマート農業勉強会)	1回
・専門家派遣	1回



スマート農業勉強会

成果

1 優良品種への改植促進

- ・温州みかん：47a増（R4）
568a（R2）→660a（R4）
- ・中晩柑：79a増（R4）
458a（R2）→604a（R4）

2 若手グループの育成

- ・計画的な品種構成見直し、労務管理の改善等、経営改善につなげる経営計画策定を支援しました。
策定農家：0（R2）→10戸（R4）
- ・スマート農業勉強会や先進地視察を開催した結果、省力樹形やシールドニング・マルチ栽培などの新技術の導入が進みました。

今後の取組み

- ・改植が見込まれる生産者への個別面談を実施し、優良品種の更なる面積拡大を図ります。
- ・若手グループを対象とした勉強会開催を継続するとともに、経営改善のフォローアップを行います。

【7】酪農経営体の維持確保

～ 経営感覚に優れた若手酪農家の育成 ～

要約

管内の酪農業を維持していくためには、高齢化に伴う酪農家の減少や、飼料価格高騰に伴う経営悪化などの課題に応じた対策を講じていくことが重要です。

このため、関係機関との連携強化を図り、これからの酪農業を担う若手酪農家を対象とした経営計画の策定指導など様々な活動を展開しました。

その結果、管内3地区に酪農経営改善を支援するための体制が整備され、経営改善や新しい技術の習得に取り組む若手酪農家の育成につながりました。

対象概況

酪農家	46戸
うち後継者（第三者継承含む） を有する酪農家	30戸

活動内容

1 酪農経営改善支援体制の整備

- 新規就農支援会議
第三者経営継承 18回
- 経営改善支援会議
自給飼料増産 7回
堆肥流通促進 3回

2 経営計画の策定とその達成

- 面談会（計画協議・策定） 7戸
- 巡回指導 50回
- スマート農業支援 1戸
- 経営コンサルティング実施 7戸



子実トウモロコシ実証ほの収穫

成果

1 酪農経営改善支援体制の整備

- 様々な課題に対応していくため、関係機関による支援会議を、福岡市・糸島市・宗像地区に設置しました。
0地区（R1）→3地区（R4）

2 経営計画の策定とその達成

- 若手酪農家を対象に、足腰の強い酪農経営を実現していくための経営計画の策定を支援しました。
3戸（R1）→26戸（R4）
- 策定した経営計画の目標達成に向け、様々な支援を行い、目標達成につながった若手酪農家を多く育成しました。
0戸（R1）→19戸（R4）

今後の取組み

- 飼料価格の高騰に対しては、自給飼料の増産が重要になってくることから、耕畜連携による自給飼料の供給体制づくりを強化していきます。

【8】肉用牛（黒毛和種）の生産振興

～ 「博多和牛」の生産を担う産地育成 ～

要約

肉用牛農家の経営を安定させるためには、ブランド力のある「博多和牛」の生産力の向上・安定化を図ることが重要です。

このため、令和4年度に開催される「全国和牛能力共進会」への出品を契機とし、肉質の向上と枝肉重量の増加などの目標を設定し、きめ細やかな調査・指導を行ってきました。

この結果、「博多和牛」の産地全体として生産力が向上し、「全国和牛能力共進会」においては、出品した和牛が県代表としては最高位の評価を受けるなどの成果が出ました。

対象概況

博多和牛生産者	9戸	1,717頭
JA 糸島和牛部会	8戸	172頭
新規繁殖和牛飼養農家	6戸	189頭

活動内容

- 1 「博多和牛」生産力の向上
 - ・発育調査・技術指導 9戸×4回
 - ・枝肉勉強会 9回
 - ・部会研修会 4回
- 2 糸島繁殖雌牛の繁殖成績向上
 - ・農場巡回調査 69回
 - ・栄養管理技術支援 4回
 - ・部会研修会 2回
 - ・多久市場出荷調査 12回
- 3 新規繁殖和牛飼養農家の育成
 - ・飼養管理技術指導 24回



繁殖勉強会（新規繁殖和牛農家）

成果

- 1 「博多和牛」生産力の向上
 - ・目標枝肉重量達成農家数 0戸（R1）→8戸（R4）
 - ・目標肉質達成農家数 0戸（R1）→9戸（R4）
- 2 糸島繁殖雌牛の繁殖成績向上
 - ・分娩間隔 408 日以下農家数 3戸（R1）→7戸（R4）
- 3 新規繁殖和牛飼養農家の育成
 - ・目標設定農家数 0戸（R1）→6戸（R4）
 - ・目標達成農家数 0戸（R1）→4戸（R4）

今後の取組み

- ・全共候補牛の調査結果を基に、飼料給与内容と肥育状況の関連を検討し、更なる肥育技術の確立を目指します。
- ・JA 糸島和牛部会の更なる発展と新規繁殖和牛農家の育成による、新しい繁殖和牛の産地づくりを支援していきます。

2 トピックス

【1】未来を切り開こう！JA 糸島青年部有志が 農業経営計画策定に挑戦

～経営計画策定講座の開催～

福岡普及指導センターでは、JA 糸島青年部員を対象として経営力向上を目指した経営計画策定講座を開催しました。

講座では、税理士の先生から決算書の見方等の説明や、先進農家から経営計画の必要性について実体験の話を聞きました。講演後、グループ討議や経営計画の作成目的や手順の説明を普及指導センターから行い、自身の経営計画策定を希望する部員に伴走支援する事により、6名が計画を策定しました。

普及指導センターでは6名の経営計画の達成に向けた支援とともに、新たな経営計画策定援を行っていきます。



経営計画策定講座の様子

【2】「(農)西小田」が麦づくりで表彰

～令和4年度福岡県麦作共励会で最優秀賞（福岡県知事賞）を受賞～

筑紫野市の「(農)西小田」は、令和4年10月に開催された福岡県麦作共励会（集団の部）において、高収量・高品質の麦づくりを実現したことが評価され、最優秀賞（福岡県知事賞）を受賞しました。

「(農)西小田」は、作業の効率的を図るため麦種ごとに団地化を進め、作業計画に基づき土づくりや排水対策等の基本技術の励行に努めています。

特に土づくりに関しては、耕畜連携による堆肥の施用や、毎年の土壌診断に基づく土壌改良資材の施用により、持続的な農業生産に取り組んでいます。

今後も優れた麦づくりに加え、効率的な水田農業を実践する先進的な経営モデルとして、地域農業の振興に資することが期待されています。



令和4年度福岡県麦作共励会表彰式

【3】ブロッコリー肥料コスト低減技術の実証 ～畝内施肥技術の効果を実証しました～

昨今の肥料高騰に対応するため、JA 糸島ブロッコリー部会において「畝立同時畝内施肥」技術の実証試験を実施しました。試験では慣行の全層施肥と基肥を3割削減した畝立同時畝内施肥の収量性及び作業性、コスト削減効果の比較を行いました。その結果、収量は同等で、畝内施肥の場合でも従来通りの収量を確保できることが分かりました。また、作業面については従来の労働時間を6割削減できるとともに10aあたり約7,500円の肥料コストを削減することができました。

普及指導センターでは、生産コストの削減と生産者の所得向上に向けた支援を引き続き行っていきます。



畝立て同時「畝内施肥」の様子



ブロッコリー試験ほ場

【4】夏の花「クルクマ」の出荷額が初の1億円突破！

クルクマは、花が少なくなる夏の時期に、爽やかで明るい花を咲かせてくれる球根植物です。

JA糸島クルクマ部会は、平成12年から糸島地域を代表する夏の花としてクルクマの産地化に取り組んでいます。

今年は全国的に出荷量が少ない中、JA糸島クルクマ部会が高品質・安定出荷に努めたため、高単価で販売を行うことができ、出荷額は過去最高の1億400万円を記録しました。

普及指導センターでは、個別指導や現地実証ほによる生産課題の解決を図りながら、「クルクマ」の産地拡大と生産者の経営安定を図っていきます。



クルクマの開花の様子

【5】福岡県農林水産賞（優秀賞）を受賞

～JA 糸島柑橘部会が地域農業活性化に大きく寄与し受賞～

昭和 37 年に発足し 60 周年を迎える JA 糸島柑橘部会は、11 月に開催された第 23 回福岡県農林水産まつりで、果樹振興の中心部会として地域農業活性化に大きく貢献したことが評価され、農林水産賞園芸部門の「優秀賞」を受賞しました。

部会では、糸島独自の高畝マルチ栽培で作られる温州ミカンの「紅まる君」や、ハウスデコポン、甘夏等の中晩柑を核とした  ブランドを確立し、集約的で高品質・高単価果実生産を実現しています。

また、園地基盤整備による省力化、優良品種への転換推進、園地貸借の取り組み等を行い、生産基盤の強化に努めています。

さらに、部会の青年部が、高齢者の園の請負せん定を行い、部会内の生産安定に寄与する等、更なる産地の発展が期待されています。



【6】JA 糸島が無料職業紹介所を開設

～農家の雇用労働力確保を目指して～

糸島産地の維持・拡大を図るためには、雇用労働力の確保が課題の一つです。産地の労働力不足に対応するため、関係機関で無料職業紹介所プロジェクトを立ち上げ、国の事業も活用しながら、設立に向けた様々な準備を進めてきました。その結果、10月3日に JA 糸島無料職業紹介所の開設に至りました。

今年度は、求人者・求職者を絞った試験運用を行い、運用上の課題を明確にし改善することで来年度からの本格運用を目指します。関係機関で連携しながら、地域の潜在的な労働力を掘り起こし、農家へ雇用労働力を安定して供給できる体制を構築していきます。



求職チラシ



求人チラシ

【7】令和4年度福岡県花き品評会 産物の部 県知事賞を受賞（ガーベラ）

令和4年11月、福岡県花卉農業協同組合で開催された令和4年度福岡県花き品評会（産物の部）において、福岡市の小川芳則さんのガーベラ「ポムケーキ」が県知事賞を受賞しました。

小川さんは、施肥方法などを工夫し品質の高いガーベラを生産されており、花茎の硬さや真直ぐな形状、赤く鮮やかな花色など、品種特性が発揮されたことが評価されたものです。

今後は、天敵を活用した病害虫防除方法に挑戦するなど、品質の高いガーベラ生産に意欲を燃やしておられます。



【8】糸島市で子実用とうもろこしの作付を開始 ～新たな飼料作物を探して、糸島市で耕畜連携～

糸島市で、キャベツ農家がキャベツ収穫後のほ場に子実用とうもろこしを栽培し、酪農家がイアコンサイレージ用として収穫し乳牛に給与する、初めての取組が始まりました。

イアコンサイレージとは、とうもろこしの実と芯と穂皮を収穫・裁断後、ラッピング（発酵）して牛に給与する、自給濃厚飼料のことです。

茎葉は収穫時に10cm前後の長さに裁断されてほ場に残り、すき込むことで緑肥効果が期待されています。また、作業時間あたりの収益が高いことや、ほ場の排水性の改良などの利点もあり、輸入飼料が高騰し続ける中、耕畜連携して栽培のできる飼料作物として注目されています。

普及指導センターでは、子実用とうもろこしの茎葉の緑肥効果についても農林業総合試験場と連携して追跡調査を行い、今後の生産拡大につながる取組となるよう支援していきます。



収穫の様子



収穫物（ラッピング前）

【9】令和4年度福岡県花き品評会 産物の部 県知事賞を受賞（ストック）

令和4年11月、福岡県花卉農業協同組合で開催された令和4年度福岡県花き品評会（産物の部）において、福岡市の宗裕文さんのストック「カルテットホワイト」が県知事賞を受賞しました。

これまでの経験を活かした栽培管理、特に工夫された適度なかん水管理により、八重咲の花が揃って着生し、ボリュームある草姿に仕上げた点が評価され、今回の受賞につながりました。

宗さんは、さらなる品質向上を目指していきたいと、抱負を述べておられました。



【10】全国和牛能力共進会 第8区で優等賞を受賞 ～和牛のオリンピックにて博多和牛が躍進～

「全国和牛能力共進会」とは、全国の優秀な和牛を5年に一度、一堂に集め、改良の成果やその優秀性を競う「和牛のオリンピック」と言われる大会で、令和4年10月に鹿児島県で開催されました。

福岡県からは4頭の和牛が出品され、そのうちの3頭は管内から選ばれました。

大会の結果は、筑紫野市の平山牧場の「若久号」が、肉質や肉量、脂肪の質を高く評価され、肉牛の部第8区（去勢肥育牛）において県代表で最高位となる優等賞17席を受賞しました。

同じく第8区に出品した糸島市の榎長浦牧場の「勝久号」、種牛の部第3区（若雌の2）に出品した糸島市の榎木村牧場の「のぞみ号」も、優等賞に次ぐ一等賞を受賞しました。

大会には、県内の肥育農家、繁殖農家も多く応援に駆けつけ、福岡県全体で盛り上がりました。

普及指導センターは今後も関係機関と連携し、5年後の次回全国和牛能力共進会へ向け、肉用牛及び繁殖牛の飼養管理技術の向上を支援していきます。



出発式の様子



平山英一さんと「若久号」

【11】高病原性鳥インフルエンザ、連続発生！

～早期終息に向けセンター職員一丸となって防疫対応～

令和4年12月18日（日）、糸島市の採卵養鶏場において高病原性鳥インフルエンザを疑う事例が発生し、遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザ（疑似患畜：H5亜型）と判定されました。

これは、令和2年11月、宗像市の養鶏場で、本県として初めてとなった高病原性鳥インフルエンザの発生以来のことです。

県では、福岡農林事務所に「福岡地域特定家畜伝染病現地対策本部」（以下、「現地対策本部」と言います。）を設置し、防疫作業を開始しました。

福岡普及指導センターは、「現地対策本部」からの動員要請に基づき、総括係（2名）、焼埋却係（1名）、集合場所係（1名）、連絡調整係（1名）、評価係（1名）を派遣しました。

地元自治体を含む多方面からの動員により、1例目は防疫措置開始3日目で殺処分が完了しましたが、翌週には同じ糸島市で2例目が、その翌週には古賀市で3例目、さらに3月には福岡市で4例目が発生し、過去最多となりました。

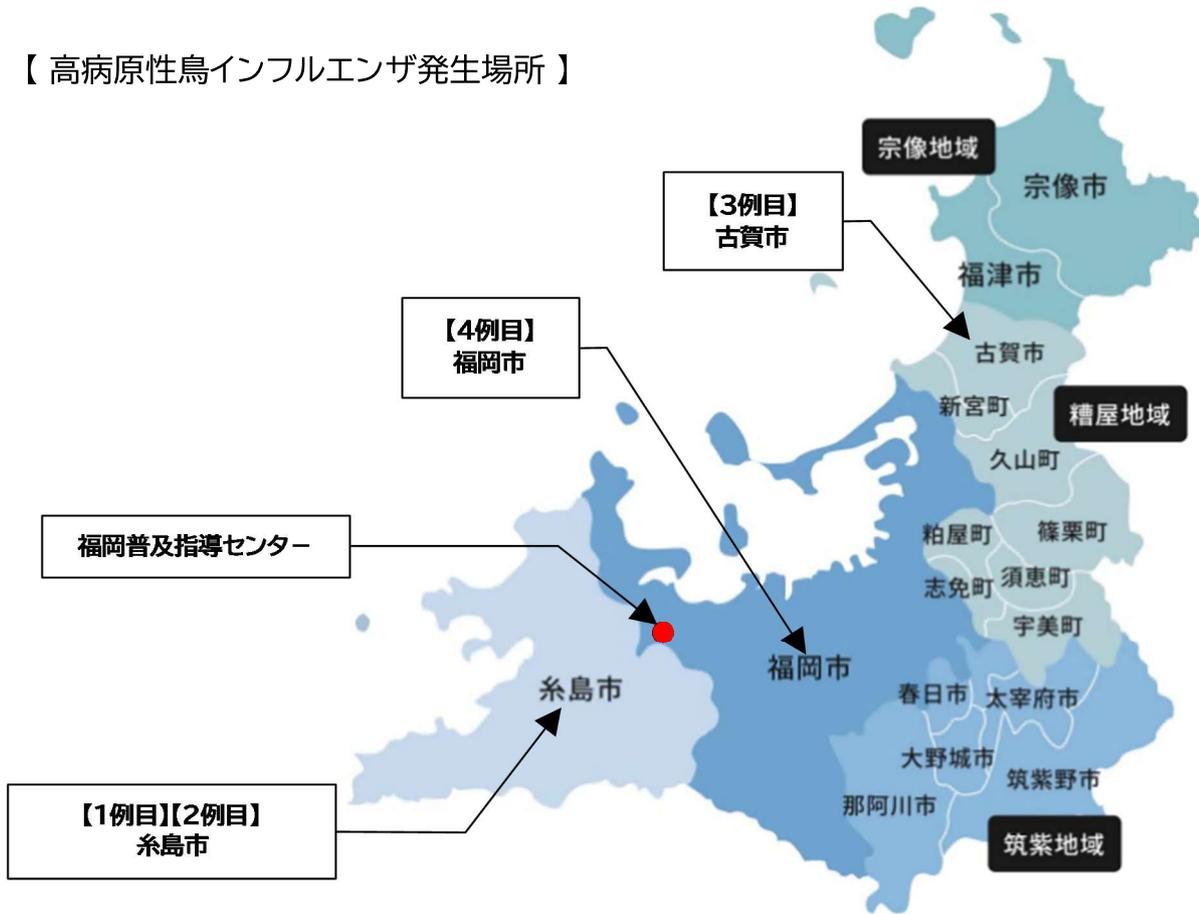
この間、福岡普及指導センターからの動員は、延べ135名を数えました。

福岡普及指導センターとしては、動員作業を通じ得られた実績・経験等をもとに、所内研修を通じ、迅速かつ円滑な防疫作業につなげていきます。

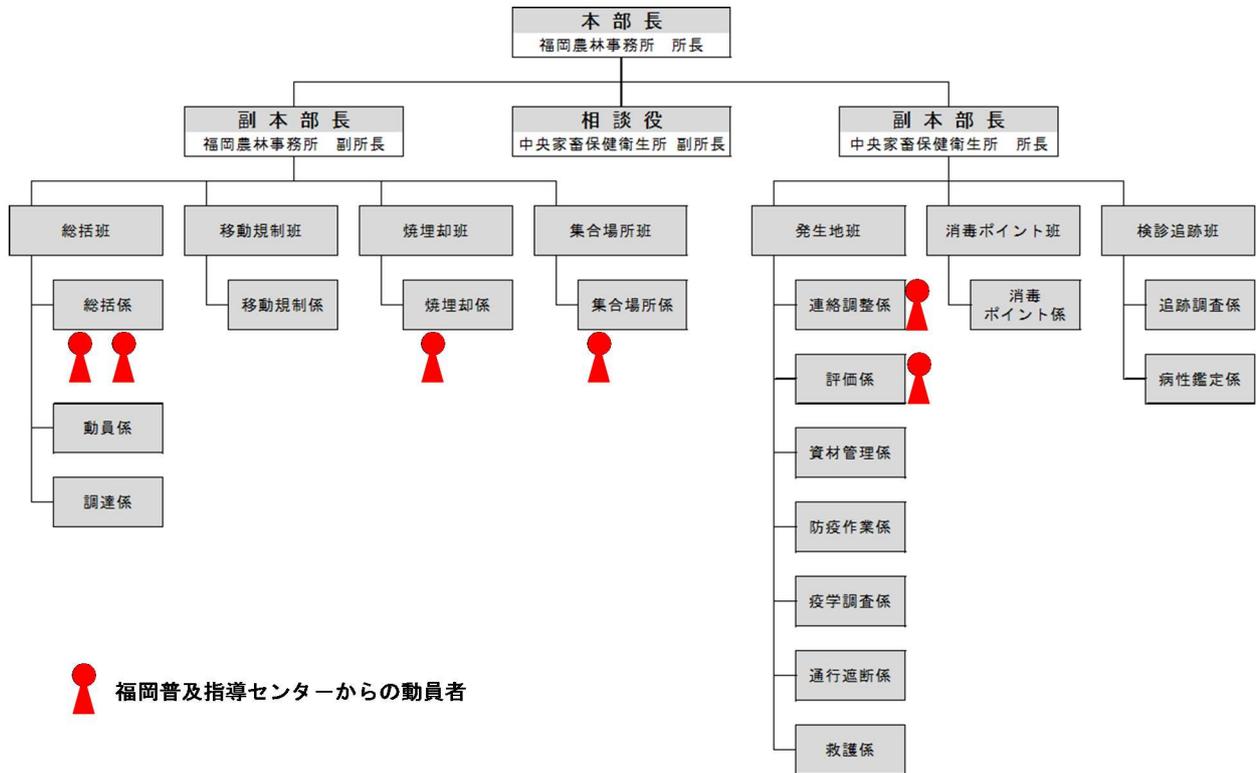
【高病原性鳥インフルエンザ発生状況】

		【1例目】	【2例目】	【3例目】	【4例目】
場 所		糸島市	糸島市	古賀市	福岡市
区 分		採卵鶏	肉養鶏	エミュー	採卵鶏
処分羽数		52,945羽	36,794羽	445羽	242,850羽
陽性判定	簡易検査	令和4年 12月18日(日)	令和4年 12月25日(日)	令和5年 1月2日(月)	令和5年 3月1日(水)
	遺伝子検査	12月19日(月)	12月26日(月)	1月3日(火)	3月2日(木)
防疫措置開始		12月19日(月)	12月26日(月)	1月3日(火)	3月2日(木)
殺処分終了		12月21日(水)	12月26日(月)	1月4日(水)	3月7日(火)

【高病原性鳥インフルエンザ発生場所】



【福岡地域特定家畜伝染病現地対策本部の体制図】



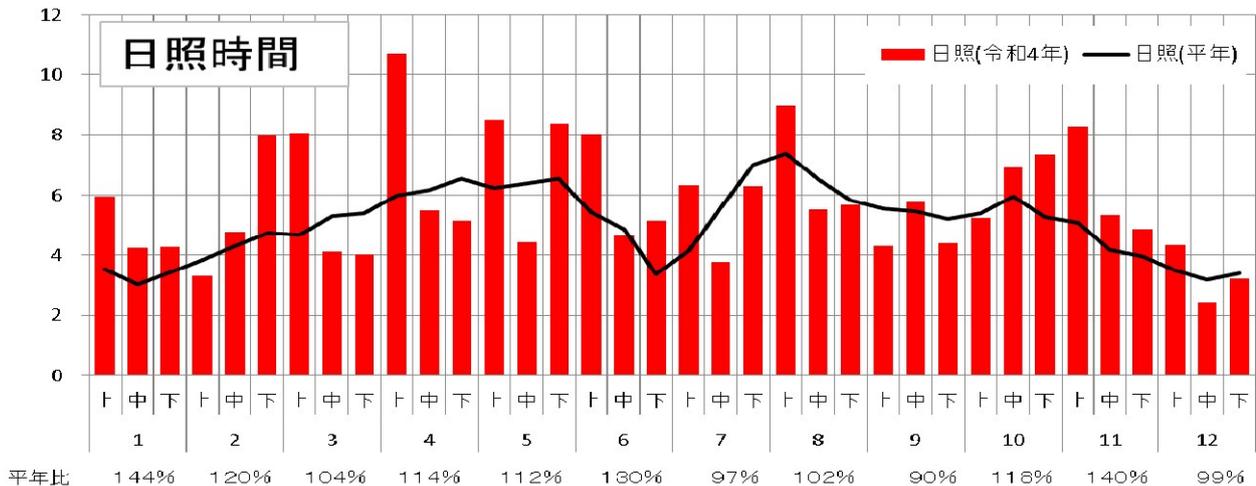
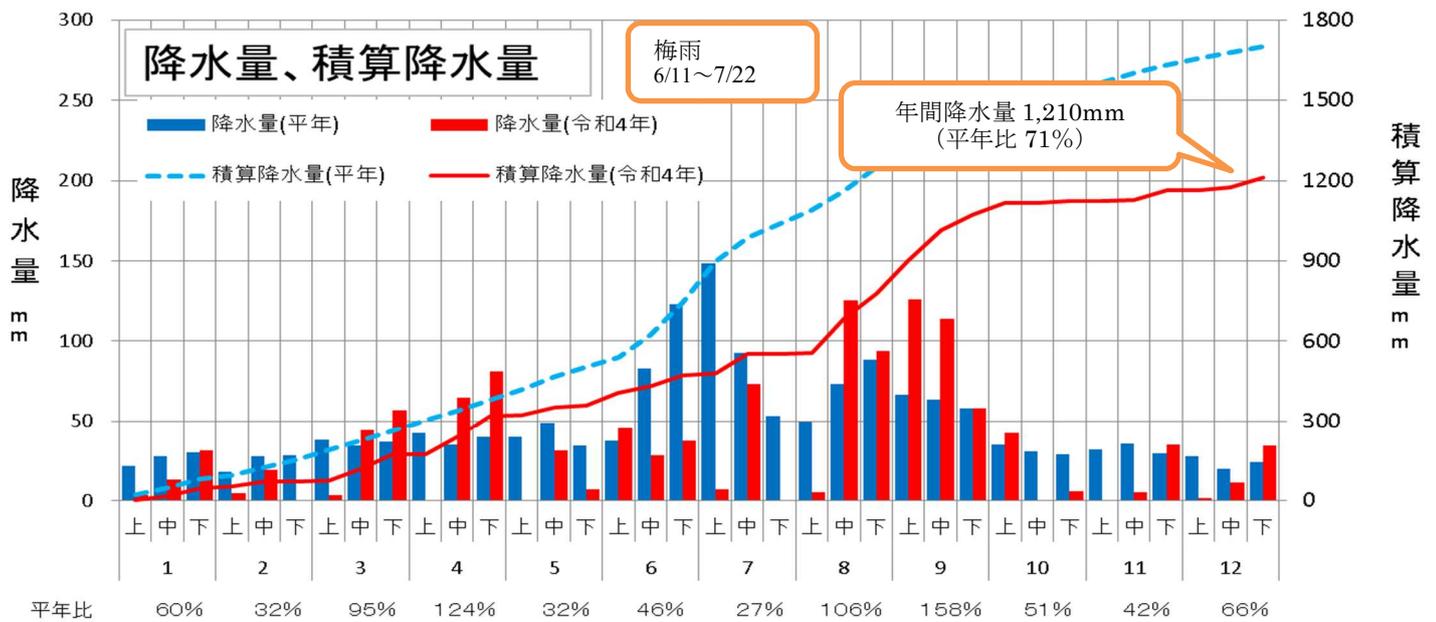
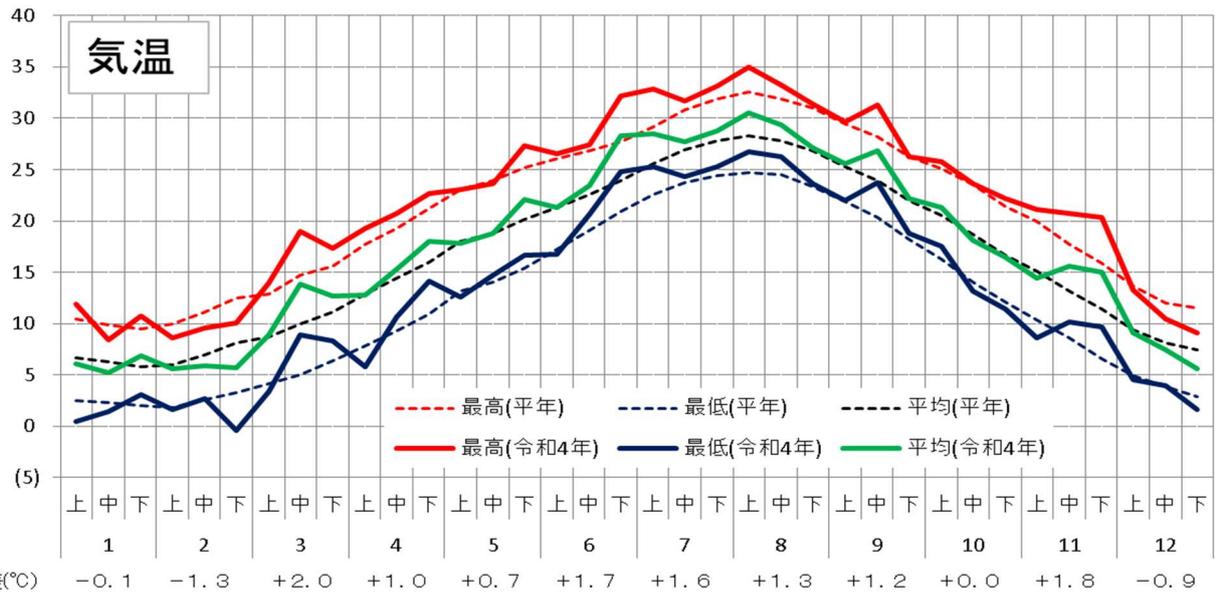
3 各種表彰の紹介

令和4年度 表彰事業実績(国、県)

表彰事業名	部門(品目)	賞区分	受賞者名	市町村
全国麦作共励会	大豆	全国米麦改良協会会長賞	農事組合法人 西小田	筑紫野市
福岡県麦作共励会	集団の部(大豆)	最優秀賞(福岡県知事賞)	農事組合法人 西小田	筑紫野市
福岡県花き品評会技術・ほ場の部	夏秋咲きギク露地部門「精の蛸」	農産局長賞	樽木 正信	糸島市
福岡県花き品評会技術・ほ場の部	夏秋咲きギク露地部門「精吟」	福岡県知事賞	無津呂 信治	糸島市
福岡県花き品評会技術・ほ場の部	夏秋咲きギク露地部門「精あかり(小菊)」	花あふれるふくおか推進協議会長賞	小川 武俊	糸島市
福岡県花き品評会技術・ほ場の部	夏秋咲きギク露地部門「精の蛸」	九州山口花き園芸連絡協議会長賞	山下 龍二	糸島市
福岡県花き品評会技術・ほ場の部	トルコギキョウ部門「アンバーダブルグリーンアップル」	福岡県花き園芸連合会長賞	大島 猛彦	糸島市
福岡県花き品評会技術・ほ場の部	トルコギキョウ部門「ラフールグリーン」	福岡県花卉農業協同組長賞	水崎 勝則	糸島市
福岡県花き品評会産物の部	ストック「カルテットチェリー」	福岡県知事賞	宗 裕文	福岡市
福岡県花き品評会産物の部	ガーベラ「ポムケーキ」	福岡県知事賞	小川 芳則	福岡市
福岡県花き品評会産物の部	ダリア「彩雪」	九州花き卸売市場連合会長賞	武藤 寛和	糸島市
福岡県花き品評会産物の部	バラ「アイスフロウ」	福岡県花き市場協議会長賞	高橋 三千年	糸島市
福岡県花き品評会産物の部	キンギョソウ「レジェゴールド」	福岡県花き園芸連合会長賞	宗 興成	福岡市
福岡県花き品評会産物の部	カンパニユラ「チャンピオンパープル」	全国農業協同組合連合会福岡県本部長賞	高宮 康弘	糸島市
福岡県花き品評会産物の部	プチロータス「マチルダ」	審査員特別賞	吉村 明峰	福岡市
福岡県花き品評会産物の部	タラスピ	審査員特別賞	高宮 一哉	糸島市
福岡県農林水産まつり	園芸	農林水産賞(優秀賞)	JA糸島柑橘部会	糸島市

表彰事業名	部門(品目)	賞区分	受賞者名	市町村
福岡県乳牛共進会	第1部 第9部 第10部	名誉賞、ジュニアリザーブチャンピオン 名誉賞、ベストアダー賞、リザーブチャンピオン 優秀賞1席	挟間 祐一	糸島市
福岡県乳牛共進会	第6部	名誉賞、ベストアダー賞	中村 毅	福岡市
福岡県乳牛共進会	第7部	名誉賞、ベストアダー賞	笠 直哉	福岡市
福岡県乳牛共進会	第7部	優秀賞1席	松永 慎也	糸島市
福岡県乳牛共進会	第8部	優秀賞1席	有田 徹	糸島市
全国和牛能力共進会	種牛の部 (第3区)	1等賞10席	(株)木村牧場	糸島市
全国和牛能力共進会	肉牛の部 (第8区)	優等賞17席	平山 英一	筑紫野市
全国和牛能力共進会	肉牛の部 (第8区)	1等賞	(株)長浦牧場	糸島市
九州管内系統和牛枝肉 共進会	和牛	銅賞	(有)三宅牧場	筑紫野市
福岡県肉畜共進会	和牛	金賞	(有)三宅牧場	筑紫野市
福岡県肉畜共進会	国産牛(乳牛肥育)	銀賞	西原 良一	久山町

令和4年の気象概況



グラフは前原アメダス(糸島市)のデータをもとに作成

【令和4年の気象概況】

- 旬の平均気温は、平年を2℃以上高い旬が周期的に現れましたが、年間を通してほぼ平年気温±1℃程度で推移しました。
- 降水量は、年間を通して少雨傾向で推移し、年間降水量は平年値の7割でした。特に、梅雨期間（6月中旬～7月中旬）は平年値の3割、10月中旬～11月中旬は平年値の1割となり、一部作物で乾燥による生育停滞が見られました。併せてこの時期、品目によってはカメムシやヨトウ類、ハダニ類など害虫の発生が増加しました。
- 時期別にみると、2月下旬に寒波が到来したものの、3月中旬以降気温が高目に推移し、麦類の生育は良好で収穫も順調に進みました。
- 3月26日未明の強風により、福岡市及び糸島市では多数のハウスでビニル破損、一部ではハウス倒壊が発生しました。また、糸島市では麦で葉に脱水症状が発生しました。
- 梅雨入りは6月11日頃で平年よりやや遅く、梅雨明けは7月22日頃でほぼ平年並みでした。この時期の北部九州の降水量は平年の68%でした。水稻は雨不足のため初期生育が抑制されました。
一方、大豆の播種は順調でしたが、播種後の乾燥により生育抑制が見られました。
- 9月6日未明に接近した台風11号の強風により、福岡市及び那珂川市、糸島市で水稻の倒伏及び籾ずれ、葉先の裂傷、大豆の倒伏、露地キクの倒伏、サイレージ用トウモロコシの倒伏が発生しました。
- 台風14号が、9月18日から19日にかけて福岡県を北上し、筑前海沿岸地域では、9月18日20時から19日2時にかけて北から北東の強風、19日11時から14時にかけて西北西から北西の強風が吹きました。
福岡市の太郎丸・元岡地域及び糸島市の千早新田・深江地域では水稻の籾や葉に脱水症状及び倒伏が発生しました。また、糸島市の深江地区では露地葉菜類の一部に潮風害が発生しました。
筑紫野市及び糸島市の大豆に倒伏が発生しました。
福岡市及び糸島市では施設のビニル破損とハウス倒壊も発生しました。

令和4年度の主な展示ほの概要

係名	対象作物	課題名	設置場所	要約
水田農業	水稲	環境負荷軽減肥料の実用性の実証	福岡市 筑紫野市	マイクロプラスチックの流出軽減を目的に3銘柄7か所で肥料試験を実施。収量が対照区と比較し80%~110%とばらついたため、実用性について判断ができなかった。次年度も継続して試験を実施する予定。
水田農業	大豆	部分浅耕一工程播種による大豆適期播種の実証	筑紫野市	適期播種の実施による大豆の安定生産に向けて、降雨後でも速やかに播種が可能となる部分浅耕一工程播種の実証を行ったところ、慣行(二工程播種)に比べて播種期間が短縮され、適期播種の実施率が向上した。また、播種後の乾燥・降雨でも出芽が安定した。
水田農業	大豆	大豆の低収要因の解明(大豆)	糸島市	大豆の低収が続いている中、ほ場の水分の推移の違いが大豆の生育や収量に与える影響に着目した。現在ほ場水分と収量の関係を調査中。
水田農業	小麦	麦類奨励品種決定現地試験	糸島市	硬質小麦「ちくしW43号」と「ちくしW2号・ミナミノカオリ」との比較を行った結果、千粒重、検査等級は同等(1等)だったものの、単収が「ちくしW2号」より7%、「ミナミノカオリ」より5%と少なかった。比較品種が倒伏程度2~3であったのに対し、「ちくしW43号」は倒伏しなかった。R5年産も継続して試験を実施する。
水田農業	小麦	麦類奨励品種決定現地試験	糸島市	硬質小麦「はる風ふわり」と「ミナミノカオリ」との比較を行った結果、単収は若干多く(1.7%)、検査等級は同等(1等)であったが、倒伏程度は大きかった。R5年産も継続して試験を実施する。
野菜	トマト	吹き付け型遮熱剤を活用した夏期高温対策	福岡市	高温期に吹き付け型遮熱剤(レディヒート)を天井ビニルに塗布した結果、ハウス内の昇温抑制効果が認められた。しかしながら、高温による裂果の抑制効果は十分ではなかった。
野菜	イチゴ	環境測定機器を用いた篤農家技術の共有	糸島市	篤農家のハウス内環境データを青年部内で共有し、日中の温湿度管理やCO2施用方法について検討し、ハウス内環境の最適化に取り組んだ。R5年産も継続して実施する。
野菜	ブロッコリー	畝内施肥機を用いた肥料コスト低減技術	糸島市	畝成形機と畝内施肥機を組み合わせることで、作業時間を6割削減でき、肥料コストは10aあたり7,500円削減出来た。
野菜	ナス	冬春ナスにおける整枝法の改善	糸島市	厳寒期の樹勢維持を目的に、葉面積が維持できる整枝法(MLA法)を検討した。現在、葉面積、着果数、茎径について調査中。

係名	対象作物	課題名	設置場所	要約
花き	トルコギキョウ	大苗定植が生育と切り花形質及び収益性に及ぼす影響	糸島市	7～8月定植作型において大苗を使用することで、生育ステージを揃えることができた。また、土壌水分の測定結果をもとに、大苗定植時の活着不良を予防するための栽培体系について検討した。次年度も継続して試験を実施する。
花き	アストラランチア	「アストラランチア」の安定生産技術の確立	糸島市	糸島地域の新規品目候補であるアストラランチアについて、夏越し方策を検討した結果、2℃で冷蔵することにより、72日間冷蔵後も生存率76%を維持できた。
花き	洋ラン	ファレノプシスの補光による品質向上技術の確立	糸島市	補光によって花茎は慣行より伸長し、生育が促進された。光量を前年度より低く調整した結果、近接照射による光ストレス症状(葉表面や花蕾への着色など)は少なくなった。
果樹	温州みかん	「山下紅早生」における満開期ジベレリン散布による落果抑制効果の検討	糸島市	満開10日後にジベレリンを散布することで、着果率が向上する傾向がみられた。特に有葉果の着果率が高まることが確認された。
果樹	温州みかん	「早味かん」のホワイトコート散布による日焼け果の軽減対策	糸島市	今年度においては、ホワイトコートの濃度、展着剤加用による日焼け果の発生率に差はみられなかった。果実の陽光面は雨が直接あたるため、資材が流れ落ちやすく、複数回の散布等の検討が必要と考えられる。
果樹	ブドウ	ミヨビの果面散布がブドウ「BKシードレス」の果実品質に及ぼす影響	糸島市	着色初期にミヨビを散布することで、着色は大きく改善できるが、散布時期が早いと糖度がやや低くなる傾向がみられた。濃度を低くすることで、果面の汚れが軽減されることが確認された。

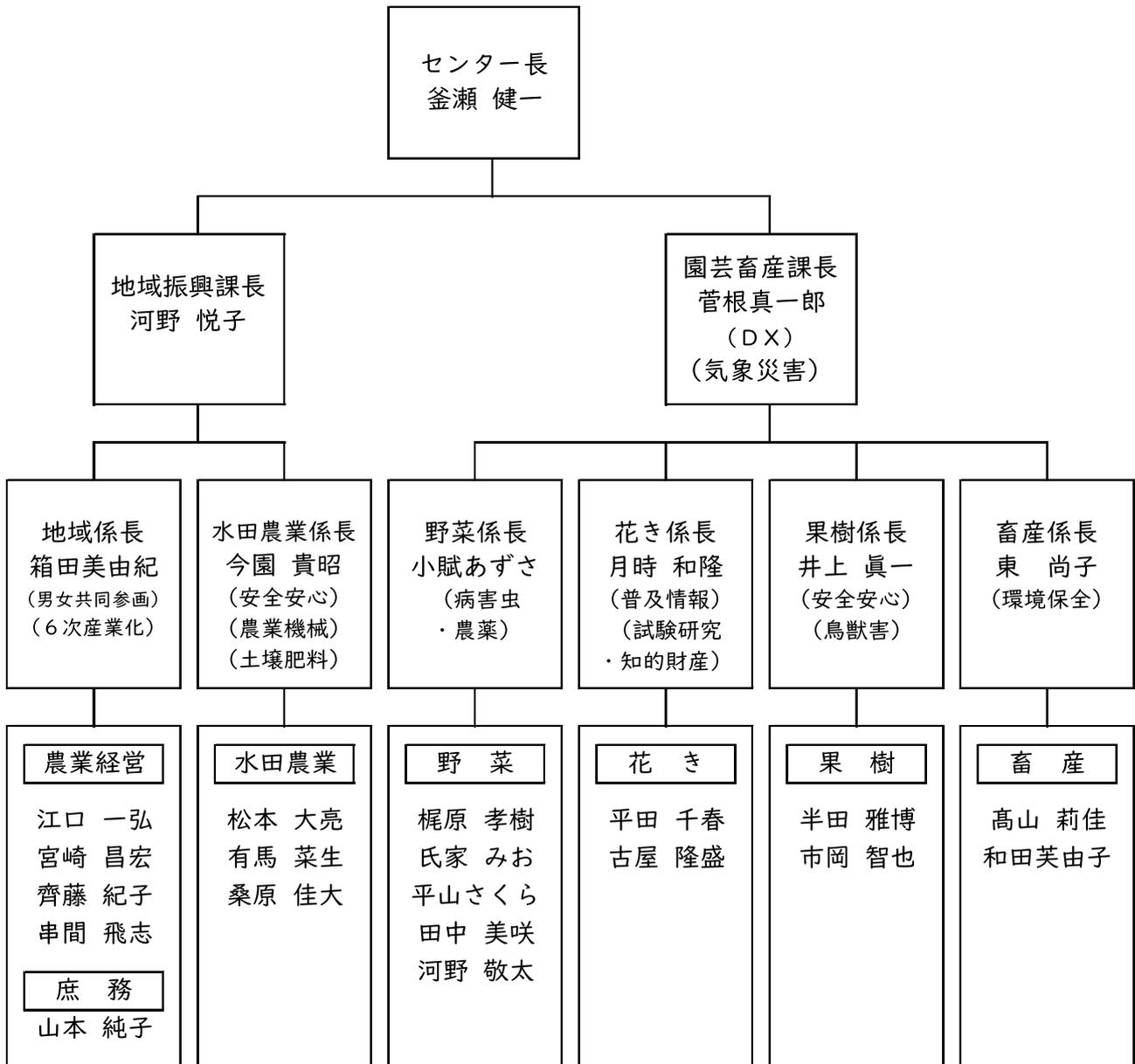
現地活動情報一覧

情報 No.	表題	執筆係名
1	JA系島トルコギキョウ部会生産躍進	花き係
2	福岡市農業用ドローン実演会開催	水田農業係
3	系島4Hクラブが交流会を開催	水田農業係
4	JA系島柑橘部会総会が開催されました！	果樹係
5	女性農業者のための経営計画作成講座開講！	地域係
6	JA系島青年部 経営勉強会開催	水田農業係
7	系島の切り花生産について農大生が学ぶ	花き係
8	系島市で子実用とうもろこしの収穫が始まりました	畜産係
9	水田農業経営力強化に向けたスマート農業技術の普及	水田農業係
10	「ふくおか就農基礎講座」が始まりました	畜産係
11	女性農村アドバイザー研修会開催	地域係
12	高収量・高品質麦の生産を目指して	水田農業係
13	女性農業者のための経営計画作成講座開講！	地域係
14	高収量・高品質トマトの生産を目指して	野菜係
15	新規就農者を対象とした農業機械研修会を開催	畜産係
16	経営改善に向けた一歩を踏み出そう	果樹係
17	令和5年産高品質麦の生産に向けて	水田農業係
18	新規就農者育成確保対策の推進	地域係
19	JA福岡市いちご部会青年部視察研修会開催！	野菜係
20	果樹のドローン防除による省力化を目指して	果樹係
21	系島ミカンのトップブランド「紅まる君」の出荷スタート！	果樹係
22	系島のクルクマ販売金額が過去最高に	花き係
23	トマト施設環境制御研修会を開催	野菜係
24	雇用導入にあたって事前に検討すべきことを把握しよう	地域係
25	イチゴ栽培基礎講座開講	野菜係
26	第2回女性農村アドバイザー研修会開催	地域係
27	ふくおか就農基礎講座「現地研修会」開催	地域係
28	JA系島柑橘部会若手グループが勉強会を開催！	果樹係
29	経営計画の発表会を開催	水田農業係
30	トルコギキョウ産地交流会の実施	花き係

「活動情報」の内容は、下記の福岡県ホームページの出先機関（福岡普及指導センター）に掲載しています。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/4nendogentikatudoujyouhou.html>

普及指導センターの活動体制



※畜産係は広域活動（北筑前普及指導センター管内を含む）

※（ ）は担当窓口

班活動体制

① センター内運営事項における推進班

青年就農者等支援班

普及情報推進班

安全・安心推進班

経営体育成推進班

② 地域指導班

福岡班（福岡市）

筑紫班（筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、那珂川市）

糸島班（糸島市）

福岡普及指導センターへのアクセス



福岡県行政資料	
分類番号 PA	所属コード 4703119
登録年度 04	登録番号 0001

福岡県福岡農林事務所 福岡普及指導センター

〒819-0371 福岡県福岡市西区飯氏902-1

TEL:092-806-3400 FAX:092-806-3367

ホームページ: <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/fukuoka-fukyuousidoucenta.html>

E-mail: fukuoka-dlc@pref.fukuoka.lg.jp